

科目名 (科目番号)	コミュニティヘルス実習 (時間割参照)	教員名	看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各担当教員	
授業概要	地域の医療・福祉施設等を利用し地域で生活する比較的健康レベルの高いライフステージ各期の人々を対象に、地域で生活する対象者やその家族の状況について理解し、対象の多様性について学ぶ。また、それを通して今後看護学を学んでいく上で深い動機付けとする。							
目的・目標	地域の福祉施設等を利用し地域で生活しているライフステージ各期の人々の発達課題や健康状態を踏まえ支援の内容について理解する。							
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	到達目標							
	1. 地域の福祉施設の概要、地域包括ケアシステム、地域共生社会について述べることができる。 2. 地域の福祉施設を利用する対象者の暮らしについて、コミュニケーションや観察を通して理解できる。 3. 地域の福祉施設を利用する対象者に対して、その人にとって必要な暮らしについて考えることができる。 4. 臨地実習での学びを資料にまとめ発表することができる。 5. 看護学生として、責任ある行動をとることができる。 6. 地域の医療や福祉施設を利用する対象者との関わりを通して学んだことを、レポートにまとめることができる。							
		学習内容 ・数人ずつのグループに分かれて地域の福祉施設で実習を行う。 ・1人の学生が異なる施設で2日間の実習を行う。 ・利用者の方と共有の時間を持ち、主体的にコミュニケーションをとる。 ・学内でまとめ・報告会を実施し学びを共有する。						
成績評価の方法・基準	実習内容が合格基準に達していること（実習評価表に基づきS～Dの5段階で評価。C以上を合格とする）							
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ	療養者を含めた地域で生活する人々を対象とし、人々やコミュニティと協働しながら生活している現状を知り、その人にとって必要な暮らしについて考えてみましょう。							